

在宅緩和ケアコーディネーター養成に関する報告

2017. 3. 23 吉田提出資料

2016年度 在宅緩和ケアコーディネーター養成研修プログラム

受講者 49名 うち修了証発行者数 47名

東予：17名 中予：20名 南予：10名

看護師：24名 ケアマネジャー：17名 社会福祉士・ソーシャルワーカー：6名

1. 在宅緩和ケアコーディネーター養成研修プログラムの概要

(1) 目的

がん患者・家族が安心して在宅療養することを可能にするため、在宅移行や在宅療養をコーディネートしていくことのできる知識と技術を身につけ、在宅緩和ケアコーディネーターやさまざまな専門家との橋渡しを担うことができる。

(2) 目標

① 在宅緩和ケアのコーディネートを行う上で必要な能力を身に着けるための課題が明確化できる。

*緩和ケアにおけるリンクスタッフとして必要な能力として、緩和ケア、がんの基礎知識（緩和ケアを含む）、症状マネジメント、意思決定を支えるコミュニケーション能力、専門家等との橋渡しのための能力の4点示す

*上記の研修に当たっては、厚生労働省委託日本看護協会 がん医療にかかわる看護研修事業 看護師に対する緩和ケア教育テキストを教材としている。

② 在宅緩和ケアのコーディネートに必要な能力を身につけるうえでの課題が明確化できる。

*在宅緩和ケアのコーディネートに必要な知識としては、コーディネーターの態度、コーディネーターの役割がある。

(3) プログラムの特徴

さまざまな職種が組織を越えて、ともに緩和ケアの基礎を学び、患者・家族の在宅生活を支えていくための緩和ケアに関するコーディネート能力向上を目的としている。また、コーディネートを行ううえで必要な、がんの基礎知識および症状のアセスメント能力向上に必要な知識を3日間で学ぶことができる。

さらに、さまざまな職種がともに学び交流することを通して、地域のケアの担い手の顔が見えるつながりの構築にもつながっていくことで、がん患者・家族が安心して居宅で生活できることを目指している。

在宅緩和ケアコーディネーター養成に関する報告

2017. 3. 23 吉田提出資料

2017 年度の活動予定

1. 2017 年度在宅緩和ケアコーディネーター養成研修会の開催
2. 住み慣れた地域で安心して自宅療養できるよう包括的な調整機能を実際に果たしていくことができるように、2016 年度在宅緩和ケアコーディネーター養成研修会修了者に対するフォローアップ研修および地域別ネットワーク構築のための会議を開催する。また、モデル地域においては、在宅緩和ケアコーディネーターを中心とした各地域でのネットワークにより、住民からの相談にスムーズに応じられる体制を整備する。

3. 在宅緩和ケアコーディネーターの認知度を高め、普及を図るための活動

認証について

モデル地域において、実際的な在宅緩和ケアコーディネーターの活動を行っているものについて、〇〇医師会／〇〇地区 在宅緩和ケアコーディネーターの名称を、愛媛県在宅緩和ケア推進協議会において認証する。

在宅緩和ケアコーディネーター養成研修会の修了者のうち、希望のあったものについて、在宅緩和ケアサポーターの名称を、愛媛県在宅緩和ケア推進協議会において認証する。

周知の方法

在宅緩和ケアコーディネーターおよび在宅緩和ケアサポーターの認証を受けたもののうち、同意の得られたものについて、その所属、氏名を公開する。また、在宅緩和ケアコーディネーターおよび在宅緩和ケアサポーターの認知を高めるための対策を講じる。

- ・がん拠点病院等のホームページへの掲載を依頼する。
- ・地域包括支援センター、地域の病院、介護保険サービス事業所等にもパンフレットを作成・送付し、周知、活用を図る。
- ・みきゃんを活用したキャラクターもしくはシンボルマークを作成して活用する
- ・マスメディアに協力を依頼し、情報の拡散を図る。 など

また、各地域の事情に応じて対策を実施し、認知度の向上が図れたかどうかについて、年間の相談件数によって普及の評価を行う。

4. 愛媛県在宅緩和ケアコーディネーター養成研修会の成果について、愛媛大学医学部看護学科の教員とともに、研究的にデータを収集し、分析の上、取り組みの改善を図る。

愛媛県在宅緩和ケア推進協議会主催 在宅緩和ケアコーディネーター養成研修会

日時 2017年1月21日(土) 9:30~16:30
2017年2月18日(土) 9:25~16:10
2017年3月4日(土) 9:25~16:30

場所 愛媛大学医学部看護学科

参加費 無料 定員 50名 (原則先着ですが地域・施設間で人数調整を行います)

【受講要件】①~③は必須 ④⑤は満たすことが望ましい

- ① 3日間の研修を全過程受講できる方
- ② 日常的にがん患者・家族の支援に携わっている方(年間10例以上)
- ③ 在宅緩和ケアについて、さらに熟達したコーディネート能力を身につける意欲がある方
- ④ 現在・将来的に、在宅緩和ケアの地域ネットワーク構築に携わりたい方
- ⑤ 研修受講後、各地域で開催される在宅緩和ケアコーディネーター会議(年3~4回松山での事例検討および地域の課題に対する解決策の検討)に出席できる方

【研修内容】

- 1日目 がんの基礎知識とがんの療養プロセス
療養の場の意思決定支援
- 2日目 苦痛緩和の基礎知識
在宅における苦痛緩和の工夫
がん患者・家族コミュニケーション
- 3日目 在宅緩和ケアにおける病院との連携・協働
在宅緩和ケアコーディネーターの活動と実際
在宅緩和ケアコーディネーターの役割と態度

<申し込み方法>

F A X : 089-935-7749 メール : yoshida@bethel.or.jp

申込期限 : 12月9日(水) 受講決定通知はメールで行います

申し込みの際、電話番号、メールアドレスを必ず記載してください。

お問い合わせ : ベテル在宅療養支援センター 吉田